

全国弓道大会 長野県勢大活躍!



第2回全国女子弓道大会
称号の部優勝 久保田智恵選手

〔平成17年2月12・13日〕
〔明治神宮武道場至誠館〕



第5回全国弓道遠的大会
一般男子優勝 大和邦浩選手

〔平成17年1月10日〕
〔明治神宮武道場至誠館〕

弓道ながの

第13号

発行：長野県弓道連盟
会長 古澤 博
〒389-2253
飯山市中央橋通り
TEL0269(62)4121
編集：県弓連広報部会
印刷：樹長野企画会議



(関連記事4ページ)

第2回全国女子弓道大会
式段の部優勝 若宮加奈選手

URI
長野県弓道連盟
ホームページ
<http://kenkyuri@yahoo.co.jp>



- 平成17年度
県弓連役員総会報告
理事長 桜井耕三
- 一月三十日/長野第一ホテルにおいて、平成十七年度役員総会が開催されて、次に掲げる議題について報告・審議が行われ、決定した。
1. 平成十六年度事業報告
 2. 平成十五年度決算報告
 3. 会計監査報告
 4. 平成十七年度事業計画(案)
 5. 平成十七年度予算(案)
 6. 役員改選



詳細は総会資料によることとし、特記すべき事のみ報告する。

議事に入る前に、理事会、常任理事会において、議事録を作ることに決定した。

第1号議案から、第5号議案までは一部の修正があったが、承認された。第6号議案については、辞任に伴う役員の交替以外は留任と決定した。

本年は、事業計画書と名簿を別冊にしたため、事業計画書が発行されて会員各位に配布されているので、支部長・評議員の名簿・役員名簿については省略する。

全日本弓道連盟評議員会報告

評議員 山川茂樹
(県弓連副会長)

平成十六年度通常評議員会が、三月十日に全弓連中央道場二階講堂において開催されました。桜井評議員と出席しましたので概要についてご報告します。

評議員一〇八名中、出席八一名、委任状二一名で評議員会が成立し、鴨川全弓連会長が議長となつて議事が進行されました。

会長のご挨拶のあと、一号議案から七号議案まで順次審議に入りました。

一号議案 一七年度事業方針

一、継続事業について

大会、研修会、講習会、日体協公認スポーツ指導者制度、国民体育大会、ペイオフ解禁による資産の保全。

二、新規事業について

弓道の更なる普及を目的として、日本スポーツマスターズ大会への参入促進、武道学園への「弓道」種目の加盟促進、倫理規定の整備、個人情報保護法の施行による規則の整備。

三、国際弓道連盟の発足について
昨年四月、全欧州弓道連盟、アメ

リカ弓道連盟の代表者が参加して、国際連盟設立準備委員会を開催し国際連盟設立について合意、十八年五月国際弓道連盟発足予定。

本連盟は、総力をあげて「真正日本弓道」発展のため一歩邁進する覚悟を新たにいたします。

二号議案 十七年度事業計画書

弓道の普及振興に関する一般方策の樹立として主たる事業と予算について説明。

三号議案 十七年度行事計画

機関誌「弓道」三月号に掲載。

四号議案 十七年度分担金

県連分担金 二六千円

全弓連合計 八、二二五千円

五号議案 十七年度収支予算書

収支予算書総括表による。

六号議案 日本体育協会関連事項

一、新スポーツ指導者制度について
日体協が見直しを行い新しく施行される制度について、全弓連は活用を含め、その促進を図りたい。

二、国体参加枠削減について

二十年度から実施の国体出場枠について中間報告(案)が競技委員会から提出があった。

北信越は、成年男子 三

成年女子 二
少年男女 各二。
七号議案 システム化に伴う個人情報取扱について

十七年四月施行の個人情報保護法に則り、会員管理システムの運用にあたって情報漏洩事故等の防止に向けて、全弓連、及び地連で覚書を締結した。

以上報告事項を含めすべての議案が提案どおり可決されました。十七年度全弓連の発展を願って評議員会の報告といたします。

各地区大会の結果報告について

行事予定表に掲載の各地区大会については、大会終了後速やかに、結果を広報部長あて報告してください。また、メールで県ホームページ担当者へ連絡をお願いします。

期日・会場・主催・参加者数・団体3位・個人5位・フルネームで、個人の所属及び的中数・特記事項、ニュース性のあるものは具体的に記事として記載してください。また連絡責任者名もご記入下さい。

【広報部長】 千386-1325 上田市大字中野 201-90
高井 忠史 (全弓連編集連絡員)
TEL・FAX 0268(38)3723

【県弓連メールアドレス】
kenkyuren@yahoo.co.jp

北信越弓道連合会
会長・理事長会議報告

平成17年3月12日 石川県小松市
県弓連出席者 会長 古澤 博
理事長 櫻井 耕三

平成17年度事業計画

- 一、北信越弓道連合会会長・理事長会議
- (1) 8月26日 富山市(北信越国体)
- (2) 11月12日 富山市(北信越選手権)
- (3) 平成18年3月11日 長野市
担当県引継会

二、北信越四・五段講習会

- (1) 5月22日 (信越の部)
飯山市弓道場
- (2) 4月2日・3日 (北陸の部)
福井県営武道館弓道場

三、北信越称号受有者講習会

- (1) 5月22日 (四・五段と合同開催)
飯山市弓道場
- (2) 4月2日・3日
福井県立武道館弓道場

四、北信越地区女子講習会

- 6月18日・19日 (石川県)
白山市鶴来弓道場
- 五、北信越地区指導者講習会
5月28日・29日
飯山市弓道場

六、北信越地区学校指導者講習会

7月30日・31日
上越市弓道場

七、北信越地区地連幹部講習会

18年3月18日・19日
福井県営武道館弓道場

八、全日本選手権大会

北信越ブロック予選会
7月24日

富山県大島町弓道場

九、第26回北信越国民体育大会

8月26日・27日・28日
県営富山弓道場

今年は総合開会式(26日)に、
弓道選手が出席することになり
ました。

十、北信越連合審査

- (1) 6月5日 (信越の部)
福井県立武道館弓道場
- (2) 7月3日 (北陸の部)
福井県立武道館弓道場
- (3) 10月16日 (北信越の部)
長野県営飯田弓道場

十一、〔北信越〕錬士臨時中央審査

6月12日
新潟県鳥屋野総合体育館弓道場

十二、〔北信越〕臨時中央審査

9月17日・18日
福井県立武道館弓道場

長野県弓道連盟史について

担当副会長 齋藤 節朗

長野県弓道連盟史を作ろうではないか、との声があつたのは四年前であります。それには、どのような手順で行うのがよいかを話し合いました。まず、作成のための委員会を作ろうではないかということになりました。そんな時、県弓連ニュースを作る広報組織ができていました。したがってその会に更に肉付けをして十数名による委員会ができあがりました。

まず。しかし、忘れてしまわれた方々と話し合い談合しているうちに想い出された方もおられました。これらのことをあげていけば、きりがないのでありますが、県連事務局の古い書物の一つ一つさがし出して、望むものがあつた時の喜びはたとえようがありませんでした。また、個人でも二十年代から以降のものを、しっかりと取つてあつた方がおられ、そのおかげで不明の空らんが少なくなりました。その方は「井堀孝雄氏」とその他の人々であります。

それから始まつた連盟史のための作業は並大抵なことではありませんでした。組織記録・大会成績・写真・人事などを過去の資料を集めるには、様々な苦労がありました。残念ながら故人となられた方々の資料は、そのお宅へ行つて事情を説明して残されている資料をお借りしてきました。しかし、お亡くなりになって年月がたつてしまつたので、すべてを処分してしまつたお宅があつたりして困つたこともありました。またさらに現存してはいても、過去のことはいっさい残してなくて、

最後に、連盟史発刊を機にわが長野県弓道の発展を祈つて止みません。

ご自分の脳内だけにしかなく、それも年令と共に忘れてしまわれた方もあり

さい。

第5回全国弓道遠的大会

一般男子の部

県勢活躍・射詰9本
50m的で大和優勝!!

成人の日記念の第5回全国弓道遠の大会が1月10日、東京明治神宮内、全日本弓道連盟中央道場で406人が参加し開かれた。

一般男子の部で、大和邦浩四段(長野大学)が初優勝、三位に藤原悠次三段(信州大学)成人男子で田村豊四段(信州大学)が二位、成人女子の部で三村美和参段(東京都第二・塩尻志学館出身)が優勝、四位に杉原優子参段、五位に平野菜津美式段、一般女子で水田明美五段(上伊那)が入賞するなど県勢の活躍が目立った大会であった。

第2回全国女子弓道大会
式段の部

若宮加奈さん(穂高商業高校三年)は昨年九月安曇支部に入会し、その月の例会で優勝、十二月には支部優秀賞を獲得。しののめの道弓道大会優勝、護国神社大会高校の部遠的優勝に続く三回目の今回は日本一の栄冠である。酷寒の明治神宮、寒さを撥ね退けようと一途に弓手を押すことだけを考え

ていたことが結果として練習不足の不安と全国大会というストレスを一緒に撥ね退けて一文字の離れにつながった、と彼女は述懐している。

二段の部は252人が出場。46人が立射による4射2中の予選を通過。4射3中でクリアして座射による決勝射に進出。淡々と練習通りの入退場を決めて次の8人の中に残った。「的に向かって真っ直ぐな気持ちで臨まないと矢は届かない」と何回でも競射を続けるつもりで気合いを入れたと言う。見事に矢は細黒の十二時に入った。的中は8人中只一人。若干十八歳の快挙。万来の拍手の中の退場も堂々として見事に青春の記念碑を打ち建てた。

「大勢の先生方のお陰さまで」と明るく笑う若宮加奈さんはこの春から税務大学の学生となる。—中村 尚子—



若宮加奈選手(穂高商業高校三年)

第2回全日本女子大会
称号の部

優勝という結果ではありませんが、射詰めで抜いた一本が、今の私の射だと思えます。ここで初めて勝負を意識してしまい、中てたい気持ちが抑えられなくなり、緊張のため足が震えました。結果はとてつもない大矢。こういう一本が試合で出る限り、稽古をして、試合に出続けると思っています。

しかし今大会は予選から決勝まで落ち着いた気持ちで弓を引くことができました。理由として、冬場の練習が射数は少ないけれど充実していたこと、体を意識して弓が引けるようになってきたこと、そして以前にもまして弓を引くことがとても楽しいことがあげられると思います。さらに風邪をひいてボーッとしていたので無駄な力が抜けていたのかもしれない。また長野県の多くの仲間が予選を突破したことや、前日に若宮加奈さんが

式段の部で優勝したことが励みになり勢いになりました。

また帰りの都合もおありなのに応援してくださいました。ありがとうございました。

長野県からは73名、全国からなんと2336名の参加登録があったそうです。これだけ女性が集まると圧巻で、すごいパワーを感じました。私自身は、性差も弓歴も関係なく同じ土俵で皆が引けることが弓の魅力の一つだと思っていますが、このような大会により、試合に出そびれていた方が集まる機会になるのであれば、それは素晴らしい事だと思えます。

「大勢の先生方のお陰さまで」と明るく笑う若宮加奈さんはこの春から税務大学の学生となる。—中村 尚子—

				X	○	射詰め八本目
				X	X	射詰め七本目
			X	○	○	射詰め六本目
持的遠近	X	○	○	○	○	射詰め五本目
X	X	○	○	○	○	射詰め四本目
○	○	○	○	○	○	射詰め三本目
他九名	斎藤往子	富田百合子	近藤嶋恵	赤澤和子	久保田智恵	(八寸)
	鎌士七段	鎌士六段	鎌士六段	鎌士六段	鎌士五段	
	東京	静岡	大阪	岡山	長野	

女子講習会の日に

中南信地区担当講師

小池 梨枝子



東北信・中南信地区 同時開催の女子講習会が今年も盛

会裡に終了しました。女性達はいいつも元気で。ですが今回、松本の西澤永子四段が病に倒れそのお葬式が奇しくも講習会当日にありました。昏睡状態の中でさえしきりに弓を引こうとしている姿が何度もあつたと聞き、その無念さを想うと胸が熱くなります。我々が現実的に弓を引ける幸せ、道場に向かえる有難さ、それらを思うと仇やおろそかな過ごし方はできないとつくづく感じ入るのです。

そこで彼女の想いを大事にし、せめてこの日の講習会だけでも受身でなく積極的な、やりたい勉強を自ら選んで挑戦して欲しいと、午後の射礼の時間を当ててみました。九つの選択肢を示し、いずれかに記入してもらったのです。が、難しい・体がきつい等と敬遠されがちな四人の一次的、原則立ちの持ち的

射礼等にも希望者が出て、ゾクゾクするほどうれしくなりました。式段参段の射手も初めての射礼に挑み無事できました。夢中で着いて行っただけかも知れませんが自分の不足部分を知った。いつもは関係無いと素通りしがちな射礼にも今後は関心を寄せられるのではないかと期待しています。立射の擲捌きも意欲的に習得してくれました。

しかし技術云々もさることながら、毎日無事に過ごせ、健康な体を維持できる事だけでも本当に幸せなことに改めて思うのです。射即人生。明日の事は誰にもわかりません。たつた今身を置いている状況の中で、己の射をみつめ工夫し向上しようとする精神や、より良い一日を目指して精一杯生きる強い心を積み重ねて行きたいのです。

毎日の仕事と両立して励んでいる若手女性達の台頭には目覚ましい観があり、喜ばしい限りです。また、ある程度生活の安定している中高年女性達は着実に力を蓄えていて頼もしさを覚えます。志半ばで果たせなかつた幾人もの弓友達の夢はこうして次から次へと大きな塊となって受け継がれ、決して消え去ることはないものと強く確信している次第です。

弓仲間紹介

阿南弓友会

飯伊支部 松澤 英男(教六)

長野県の最も南にある県境の町、阿南の弓友会を紹介します。

昔からこの地は弓が盛んだったよう、小さなお宮にも江戸時代からの「金」の額がかかり、三州〇〇門人といった絵馬もみかけます。

町内の和知野地区には小集落ながら古くから十数人の愛好者による弓の会が続いており、屋根つきの矢場を二ヶ所も持ち、今も毎月例会を開き、お祭り射会などにはこぞって参加し、和気



和知野グループの新年射会に招かれて (中央着物 松澤)

あつあつ 萬々として弓を楽しむ、県内にも特異と思われるグループがあります。これらの人たちを主力にして、現在阿南弓友会には県連会員が二十三名います。

実は、自分でいうのも変ですが、私が十年ほど前に退職して帰ってくるまで、阿南町には町としてのまとまった会がありませんでした。県連飯伊支部の会員も途絶えたままで、したがって段持ちもほんのわずかでした。

二、三人の人と少し弓勉強でもするかという話がきっかけになって、町で弓道教室を開いていただけることになり、和知野の人たちをはじめ、町内各地や新人も加わって、それを機に弓友会もでき、段に挑戦する人も増えました。

三年前に署名を集めて手狭な弓道場を建替えてもらいました。今どきなんという反対の声が上がる中で、町理事者の深いご理解をいただきました。

毎月の例会は第四木曜日の夜、火木の夜が練習日、中学生にも呼びかけて、現在五名の中学生、それに高校生やよそ村の人も顔を見せてくれます。

「弓を楽しみましょう。上を目指す人には応援しましょう。和を以て尊しと為す」が、以心伝心の仲間たちです。

「競技部員研修」行われる

競技部長 清水克也

競技部では、去る三月五日(土)に松本市営弓道場において、県弓連事業計画に基づき、第四回競技部員研修会を実施した。講師に競技部担当副会長 範士八段・栗林 實先生を迎えて部員総勢が参加して予定通り行われた。

内容は前半、講師による全弓連競技規則のポイント説明から始まり、殊に昨年、一昨年の競技会に於けるトラブルの実態を講師より説明があり、この反省をお互いに確認した。

具体的には、

- ① 弓具点検での紛らわしい目印の扱い
- ② 申込期日と申込書の未着問題
- ③ 呼出時に於ける選手不在の取り扱い

等々。

後半は、介添えの具体的手法、選手の矢における進行係の、弓・矢の対応等を各々部員が交代で実践し講師より指導を受けた。

最後に、全員参加で持的射礼・女子混在の立射礼など実際に行い、閉講式に講師より講評をいただいで閉会となった。講習会終了後近くのそば処「山

がた」で懇親会(自費)を行い部員相互の交流を深めて散会した。

今年も競技部の主管する五つの競技会が計画されていますが、大勢の弓士の皆様方のご参加とご活躍を心より祈念申し上げます。



私と弓道

弓を手にして

佐久支部 倉島 裕(教六)

私が弓を手にしたのは、教員を退職翌年市教委主催の「弓道初心者教室」の最初の日でした。退職以来何か運動をと思っていた時、市の広報に、「弓道初心者教室」の受講者募集の記事が目にとまったので、早速応募した訳です。それまでの私の弓に対するイメージは、弓に矢を番えて的に向って放つぐらいのもので、何ともはや幼稚なものでした。

さて教室で指導者諸氏が準備してお



いてくれた竹製の古い弓を手にしました。けっして立派なものではありませんでしたが、私を弓道に導いてくれた弓だったので。さて十回の講習で、弓について一通りの指導を受けた訳ですが、専門用語がばんばん出て来て咀嚼しきれず、主として立射はこうだなという事がなんとなく分ったところ、教室は終わってしまいました。

しかし会から離れの感触がいたく気に入り、終わってから早速佐久市弓道会に入会、毎夜道場に通い練習、しかし上手行かず問題点ばかり、たまたま県庁へいく用事があり、帰りに弓屋さんに寄った所「弓道教本」第一巻が目にとまり早速購入。帰りの電車の中で序論を読み、私の弓に対する観念が大いに変わり、弓道は厳しくそして豊かな心を養うものであると、思いもかけなかった目を開かせてもらったのでした。

半年もたった頃先輩より「審査を受けてみたら」と勧められ、受審のための体配を教わり試しに受審した所、初段に合格しました。以来各種講習会、射会等に参加、学べば学ぶ程奥が深い弓道に、更に精進している今日この頃です。

審査の受審について

審査部長 吉澤 金 房

昨年の後半より審査事務をコンピュータリ化し実施する予定でしたが、全弓連より適切な指示が無い為、従来通りの流れで実施いたしました。十七年度も引続き従来通りで実施いたします。年度途中で、コンピュータリ化が動き始めた場合には、練習をかね、平行して実施していきたいと思っています。

今後、審査事務のコンピュータリ化が実施される運びとなった場合には、審査申込みにはID番号が必要になります。ID番号は各支部長の所で把握していただきますので、不明の場合には、支部長に問い合わせ下さい。又、連盟に入会していない人で、審査を受けようとお考えの方は、まず連盟に入会し、ID番号をもらう事が必要です。審査事務の簡素化の観点からも、早い時点でのコンピュータリ化が望まれます。

現在、審査を受審する場合、事前講習会を受講し、体配、射の運行等を学んでいますが、事前講習会にたよる傾向が強いように思われます。常日頃の練習から、審査に対する練習、心構えが大切です。審査でうまく引こうと思

うのは皆同じですが、実力以上の射は出ないという事です。従って、日頃の練習方法が重要になって来ます。特に矢数をかける学生は、最も注意が必要です。良くなるのも早いかわりに、悪い癖を憶えるのも早いかわりです。出来れば他の人と見あい、アドバイスを受ける事が良いと思います。自分の弱点を把握し、課題を持つて練習する事が大切だと思います。十七年度の審査会は前年同様、式段以下十回、四段以下四回実施致します。多くの会員の方々が受審され、合格される事を希望致しております。

審査合格者

○特別臨時中央審査 12月19日 東京

◆錬士の部

山崎 まち子(長野)

◆教士の部

松澤 英 男(飯伊)

◆教士号取得特別講習会

17年2月23日〜25日(東京中央道場)

この特別講習会は錬士号取得13年経過六段受有者、名誉会員であることなどで、各県連より推せんされた者の特別講習会。5年毎に開催され審議の

結果、教士の称号が授与されるものである。全国から49名が受講、新教士が誕生した。県関係教士取得者

◆教士の部 2月25日付

錬士六段 高井 忠史(上小)

錬士六段 今井 康人(上小)

県弓連人事(新任発令のみ)



副会長 宮下 重敬



副会長 征矢 憲

○平成17年2月1日付

・副会長に委嘱する。

宮下 重 敬

征矢 憲

・監事に委嘱する。

降旗 昭 雄

・顧問に委嘱する。

斎藤 節 朗

・参与に委嘱する。

小林 武

・評議員を命ずる。

水野 悦 子(飯山支部長)

中野 栄 治(上小支部長)

鷹野 良 信(上小)

柳 沢 慎 一(小諸支部長)

倉 島 裕(佐久支部長)

井 上 宣 史(南佐久支部長)

丸 山 泰 利(大北支部長)

上 條 誠(安曇支部長)

関 澤 喜 内(松本)

広 田 義 照(木曾支部長)

丸 山 清 一(諏訪)

富 永 義 美(上伊那支部長)

・ジュニア部員を命ずる。

佐々木 良 三(飯伊)

・指導部員を命ずる。

古 川 忠 司(飯伊)

中 曾 根 浩(長野)

小 林 克(松本)

各地大会 結果報告

第23回飯島町弓友会百射会

2月11日/飯島町弓道場
参加者28名
成績は次の通り

- ①中島 啓(天竜村) 85中②前沢秀夫(宮田村) 85中③笹岡達也(駒ヶ根市) 69中⑤春日 貴(駒ヶ根市) 68中

第4回東日本高等学校弓道大会

12月18日、19日/群馬県前橋市ぐんま武道館弓道場/参加20県242チーム

- ・3人立の部女子 決勝トーナメント 岡谷東A4-7八戸西A(青森県)
- ・5人立の部女子 予選20射 松本深志20射11中

決勝トーナメントへ

準々決勝

松本深志9-6川奈(神奈川)

準決勝

松本深志9-9由利(秋田)

射詰2-3で由利高校

以上の結果

松本深志高校 3位入賞
(飯島詩織・藤原加奈・征矢野美香・清水美緒・片山史子・関澤美穂・前角加奈子)

第12回中野冬季100射会

2月20日/中野市営弓道場
参加者36名
成績は次の通り

- ①山崎 哲(中高・南宮) 71中②原田正浩(中高・岩船) 70中③武田礼子(中高・中町) 65中④竹内 博(長野) 64中⑤矢澤有史(松本) 63中

第13回駒ヶ根市体協百射会

2月20日/駒ヶ根市弓道場
参加者19名
成績は次の通り

- ①笹岡達也(宮田) 77中②春日 貴(下平) 71中③前沢秀夫(宮田) 70中④小原武男(東伊那) 63中⑤柴 種徳(伊那) 61中

穂高神社奉射祭大会

3月17日/穂高弓道場

(団体)

- ▽一般①安曇(若宮加奈・松沢 章・松井幸彦) ②混成(岩垂昭彦・中山光康・丸山己弘) ③駒ヶ根(前沢秀夫・原 泰志・鈴木清重)

- ▽高校①松本深志A(吉田康将・田村大至・石井悠司) ②松本深志E(飯島・松沢・片山) ③穂高商A(永田・中村・今井)

- ▽一般①松井幸彦(安曇) ②岩垂昭彦(松本) ③原 泰志(駒ヶ根)

- ▽高校①両角政宣(岡谷南) ②大平(松商学園) ③今井(穂高商)

会員だより

年末年始に風邪で寝込んでしま
い、賀状失礼いたしました。

咳も少なくなり元気が出てきま
した。本年もどうぞよろしくお願
いします。

軽井沢町南軽一三三

依田 禮之助

電話0267(宅)2510

弓道教歌・用語

さわしの 洗籠さわしの

籠竹に薄く火を入れ、これを泥
の中に漬けて置き、充分に狂いを
出して後矯めて作り上げたもので
色は普通黒色である。また砂で摺
った籠を洗のある泥中に三四十日
程浸して置けば黒く色付くので、
之を取り出して日に乾かし、矯め
上げて籠とすることもある、これ
も洗籠である。一に沢火籠と云う
事もある。

おしでをば

押手をばいかにも直すにさしのばし、
なにをう山を押す心せよ

小笠原流押手の内の歌、押手
は大三の位置に弓を送った所から、
引分け・会・離れまでどこまでも
真直に差し伸べて屈する事なく、
有名な大なる山をも押し動かす程
に、油断なく押し通すことが大切
であるとの教歌であるが、決して
力身になってはならぬ、りきめば
働く力がかえって弱くなるもので
ある。

地連幹部講習会に参加して

古澤 金蔵



講習会は、2日間晴天に恵まれ、会場の中野市営弓道場では、新雪で真っ白にな

った北信五岳が迎え入れてくれました。指導力、競技力の向上を目的に、北信越5県から20人の受講生が集まりました。昨年は折角選出していただきましたが、都合で欠席をしましたので、今年が初参加になります。

山形県の岡崎廣志先生と県副会長の山川茂樹先生のお二人に2日間、充実した内容の指導を受けることが出来ました。本当にこのような講習会に参加出来たことを感謝しています。

第一日目の矢渡から、岡崎先生の迫力のある、素晴らしい一手に度肝を抜かされ、直後の一手行射はビビリながらの受講でした。

一日目は岡崎先生の講義、そして二日目は山川先生の講義でした。「技を使うな」「伸びの中断はダメ」「手先だけで、体を使っていない」「的中にこだ

わり過ぎている」「二人一人、どんな弓を、作り上げていくのか」と、鋭い指摘を受けてのスタートでした。的を見ることにより、的中への執着心がより一層強くなり、その結果伸びの中断が生じる。わかっています、晴れの舞台で、どう自分の弓を引けるかが私達のいつもの課題です。



講師 岡崎廣志先生

「弦を離してやっている」「弓は空間への演出(表現)をして引くこと」「常に、自分をギリギリまで追い込まなければ、無発の射へ繋がらない」「気力と体力の交差点で、やっと自分の限界への挑戦ができる」「人に感動を与える(生まれる)射」ただ努力のない毎日の繰り返しでは、射梨漢(的中だけで楽しんでる輩)だと。

実技に関しては、1日目は着物着用。午後は立射礼を勉強しました。その中で、立射での矢番えの高さについて、肩の高さ程で行うよう指導がありました。2日目は弓道衣で射技研修を行いました。2人の講師先生に、きっちり指導を受けました。

講習会も大詰めになり、最後の仕上げ行射で終了になりましたが、「自分が主役でない」「自己主張が弱い」「射技指導の時は、よいものをだしていいのに、伸び伸びとした射ができていない」「ここで良いというところで安心していい」とお二人から大変に厳しい評価をいただきました。

私は、今回の講習会を通じ、改めて自分自身の取り組みの甘さを痛感しました。今回の講習をバネにして、今シーズンを迎えたいと思います。

第23回全国高等学校選抜弓道大会

平成17年3月19日〜21日

全日本弓道連盟中央道場

長野県関係成績

(男子個人) 橋爪 達 (岡谷南)

▽予選3中 決勝進出

▽決勝〇〇〇〇〇× 7位入賞

(女子個人) 三石 典 (下諏訪向陽)

▽予選1中 予選敗退

(女子団体)

飯山南 山本 温子

高橋 望美

富井千恵美

宮澤 溪子

▽予選 (12射) 7中

▽同中競射0中 予選敗退

(男子団体)

松本深志 松下晋之介

梶原 進也

柴原 理志

荒深 和志

▽予選9中 決勝トーナメント進出

▽決勝トーナメント1回戦

松本深志9 | 7嘉穂 (福岡)

▽決勝トーナメント2回戦

松本深志10 | 11川越 (埼玉)

ベスト8

事務局からお知らせ

◎会員IDカードの交付について

(作成幹旋)

全日弓連では、会員のIDカードを作成して幹旋することになりました。注文希望者は全日弓連直接でも、県弓連事務局でもどちらでも結構です。出来るだけ支部でまとめるなどして、ご連絡ください。十枚以上まとめると200円が180円になりますのでよろしくお願ひします。

【カード表面】



【表面】共通………全弓連マーク(カラー)、カード名称、全弓連名称、全弓連印影
差込データ…氏名(よみ・漢字)、会員ID(9桁)、交付地連、発行月日(西暦)
※氏名の外字については印字なし。つや消し部分に各自で手書き対応。

【裏面】共通………カードの諸注意、全弓連の所在地とマーク(モノクロ)

○発送費 会員個人宅、またはご指定の場所に(宅配メール便)で直送いたします。送料はカードの印刷費に含まれております。
支部・団体へ一括送付(10枚以上)の際には、1枚当たり180円(税込・送料込)で申し受けます。ご指示ください。

○発注方法、及び納期

会員ID、氏名、送付先をExcelまたはcsvファイルに整理していただき、E-mailに添付して全弓連へ送信してください。
発行年月は、原則として作成年月といたします。
E-mail 受領後、原則として一ヶ月以内に発送いたします。
発注先 E-mail kanri1@kyudo.jp

会議報告

■長野県弓道連盟史

編纂委員会最終会議開催

3月12日/長野市第一ホテル会議室
斎藤節朗担当副会長のあいさつの後
大詰となった連盟史の経過報告と最終
校正について協議した。

校正については二日後に担当分について必着で提出することとした。

題字や総体におけるレイアウト、体裁についても検討し予定どおりの発刊が見えてきました。

ご指導、ご協力いただきました関係者各位に厚くお礼申し上げます。

■県弓連理事会

3月6日/長野第一ホテル会議室

役員総会で新役員が選任され、17年度の事業確認を含め理事会が開催されました。

・役員委嘱状の交付

・17年度事業の確認について

・その他

編集後記

桜の蕾も、ほころびる季節となりました。

弓道なごの、第十三号をお届けします。一月三十日に、長野県弓道連盟役員総会が、長野市で開催されました。県連発展のための真剣な議論がなされ、人事において若返りを計るべきとの意見もありましたが、もう一期古澤先生が会長となり副会長に新しく宮下重敬先生、征矢憲先生のお二人が、就任されました。新体制でのご活躍をお祈り申し上げます。

平成十四年七月に計画立案された、長野県弓道連盟史が発刊され、県連六十年の中の大事業を成し得た思いです。古澤県連会長はじめ、県連役員の方、古澤県連会長はじめ、県連役員の方、編纂委員、資料協力者のもとより、連盟史を購入された会員の皆様方、作り手があり買手があればこそ出来得た、長野県弓道連盟全会員が一丸となつての成果と、編纂委員の一人として感謝の気持ちでいっぱいです。

特に斎藤節朗前副会長、高井忠史広報部長、両先生の、ご指導と熱意の賜ものと厚くお礼申し上げます。

(百瀬 正)